

あんてな

発行 事務局・広報部
2019. 3. 21

“立春” “春一番” の文字がニュースで聞かれる一方、新聞の地方版ではホワイトアウトに厳寒・暴風雪。ご多忙の1年間を振り返って頂きました。お疲れ様でした。

*7部からのお便りで
平成最後の年をご報告します*

平成 30 年度活動を振り返って



事業部

《道内・国内美術研修旅行実施》

アルテピア 40 周年記念事業として7年ぶりに道内美術研修旅行（道南：伊達、江差、松前、函館）を5月に実施。地味ながらも歴史を知る見応えあるコース。催行人数割れながらも尽力してくれた旅行会社に感謝！

国内は10月に「新潟・富山めぐり旅」。フォッサマグナの貴重な地球博物館も。富山県の美術館も好評でした。2019年度は海外研修旅行が復活！ご期待ください！

売店部

《この1年を振り返って》

ブリヂストン美術館を始めとして国内の有名美術館の名品が次から次へと公開されました。展示品に合わせての商品選び、販売と忙しい日々が続きました。特に和風の物や書籍が多く売れました。

7月3日は部の研修旅行でした。荒井美術館・西村計雄美術館を巡りゆっくり楽しい時間を過ごしました。

今年も部員一同お客様に満足していただけるよう笑顔で頑張ります。

広報部

《世代交代と継承》

ここ数年ベテラン、中堅が個々の事情により次々と辞めていき、今年度は4名もが抜けた状況での船出となった。新しい人も一人、二人と入ってくる中で、今は世代交代の時期に来ていると感じる。

廃刊の危機にあった「あんてな」は、3人体制で3回発行することができ、「アルテピア」は4人体制でなんとか切り抜けてきた。次に繋いでいくためにも継承の必要を痛感している。



解説部

《小学校の団体ツアーを受けて》

昨年7月、一つの小学校の5年生97名が来館しました。子ども達に本物の絵を見せたいという先生方の熱意からです。一人ひとりの顔が見えるよう少人数のグループに分かれてツアー開始です。色がきれい！人が空を飛んでる！など感嘆の声が上がり解説者にとって嬉しい瞬間です。終了後、先生から展示室を出て来た子ども達目がキラキラ輝いていましたと感謝の言葉を頂き、担当者一同大きな喜びと感動も味わいました。

資料部

《模様替えで気分一新》

昨年度末、事務室の配置換えの際に部が活動する室内も模様替え。館収蔵品のスライド整理は数年前に終了していて、そのため机や保管庫が今回無くなり、代わりに大きなテーブルが置かれた。机が減って、その上にあった物があちこちに移動し、皆、当初は困惑していたが、書類を広げる作業や打合せにと、テーブルは使い勝手が良く、新鮮な気分でご当番に入る一年だった。

研修部

《この1年の活動を振り返って》

研修部は5月の美術講座から始まり、共通研修では経験した事がない道内胆振東部地区地震の発生で一回目9月6日が12月13日へ日程変更となりましたが、外部講師・受講生のご協力を頂き無事実施することが出来ました。その後は美術講座プレミアム・専門研修・特別オリエンテーション・全体研修(講演会)と活動を進める事が出来ました。有意義な内容となるよう検討を重ねます。

特活部

《この1年の活動を振り返って》

平成30年度は、17回の美術への誘い、アートクラブ3回で終えました。それぞれ開催当日を迎えるまで、たくさんの準備を手分けして行います。また、部内研修では「北海道の作家」をテーマに各自、調べて発表をしてきました。

走りながら考える1年でした。部員一人一人のスピードは違っても、新年度も力を合わせて進んでいきたいと思っています。

美術館訪問

“素敵な時間へようこそ”



快晴の土曜日、本郷新記念札幌彫刻美術館を公共交通で訪ねた。閑静な住宅地の中にある美術館への道は、「彫刻の道」と名付けられている。作品が迎えてくれるこの

道をゆっくり山側へ10分歩く。

本館前庭では、今年10回目になる「さっぽろ雪像彫刻展」が開催中。多くの人で賑わっていた。

今回、特に印象に残った作品は、1970年に発表された「無辜の民」と題された連作である。コレクション展「本郷新の見た異国」では、中東・アジアへの旅のイメージがこの作品のモチーフになっているそう。心に刺さる気分になったのは、今も無くならない紛争のせいだ。

ご近所のご夫人に、どうぞごゆっくり観てくださいねと声を掛けられた。地域で大切にされ、愛されている美術館であった。記念館2階からの都心や円山の眺望もすばらしい。日常の喧騒から逃れて、静かに彫刻芸術に浸った一日であった。



///事務局 清水氏が退職

新任の加藤保氏からのご挨拶///

事務局で昨年の11月からお世話になっております。ボランティアの皆さんの熱心に活動する姿に元気を分けてもらいながら健康でいられることに感謝し、気持ちを新たにしています。よろしくお願いいたします。

取材記

🌸 2/16(土)ガラス蓋のマグネット缶をアートに変身させる今年度3回目のアートクラブ。見事な案内ポスターに惹かれ、親子連れ等一時は満席に。青年二人連れは完成品を誰にあげるのかな?細かな作業に当たった部員の皆さんお疲れ様でした。



編集後記***「もうすぐ春ですね」と口遊みつつの除雪。小公園で毛糸の帽子とマフラーを着け、雪を纏った彫像を見て同じく声をかけ、店頭の雛人形に春を待つ日々。皆さま、足元にお気をつけてお過ごしください。